

社会全体の情報化が進む中、学校教育においても「プログラミング的思考」の育成などに取り組む「プログラミング教育」の充実が求められています。今号ではプログラミング教育事業の取組などについて紹介します。



小学校プログラミング教育のねらい

小学校では、昨年度からプログラミング教育が必修化されました。

小学校プログラミング教育のねらいは、大まかに示すと右の3点です。

このうち、①に示されている「プログラミング的思考」とは、筋道を立てて考えたり、試行錯誤しながら改善したりする論理的な考え方のことです。

【小学校プログラミング教育のねらい】

- ①「プログラミング的思考」を育むこと
- ②プログラムの働きやよさ等への「気付き」を促し、コンピュータ等を上手に活用して問題を解決しようとする態度を育むこと
- ③各教科等の内容を指導する中でプログラミング体験を行う場合には、各教科等の学びをより確実なものとする



「プログラミング教育事業」の取組

北海道教育委員会では、全道20校の研究実践校を指定して「プログラミング教育事業」を実施しています。それぞれの研究実践校では、1人1台端末を活用したプログラミング教育の実践や小・中学校及び高等学校を通じたプログラミング教育の連携などに取り組んでいます。



10月19日(火)に研修会を実施した、美瑛町立美瑛小学校では、国語科の授業で、漢字の読み方を確認するプログラミングに取り組みました。

子どもたちは、プログラミングを通して、これまでに学習した漢字について理解を深めるとともに、プログラムの働きやよさを実感していました。

公開研究会のお知らせ

各研究実践校の公開研究会の日程は、北海道教育庁ICT教育推進課のWebページに掲載しているのでご覧ください。なお、公開研究会への参加方法等については、研究実践校が所在する教育局の担当者までお問い合わせください。



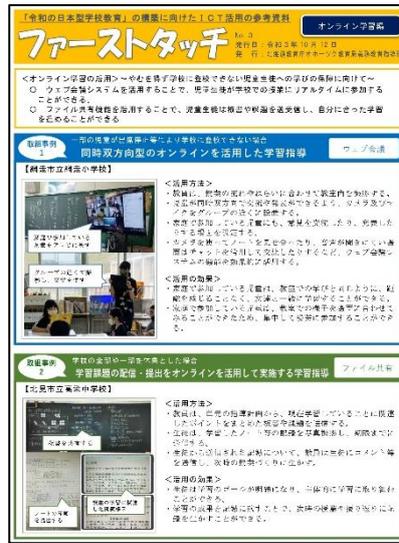
今号のコラム

オホーツク教育局の取組 ～ファーストタッチの発行～

オホーツク教育局では、「令和の日本型学校教育」の構築に向けたICT活用の参考資料として、「ファーストタッチ」を発行しています。

「ファーストタッチ」では、クラウドサービスのアンケート機能を活用した取組事例や、オンライン学習の取組事例などを紹介しています。

今後もオホーツク管内におけるICT活用の取組を全道に発信する予定です。



オホーツク教育局
義務教育指導班
のページは
[こちら](#)



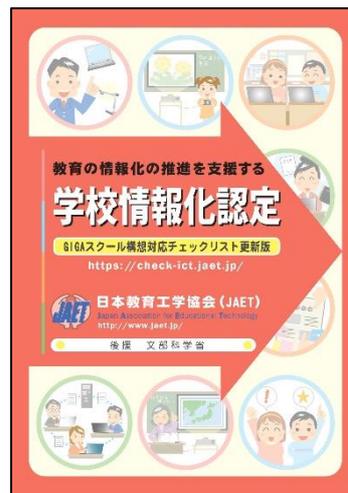
日本教育工学協会(JAET) ～学校情報化認定～

GIGAスクール構想チェックリスト更新版→

日本教育工学協会では、教育の情報化の推進を支援するために、2014年度から「学校情報化認定」の事業を行っています。

Webサイト上の「学校情報化診断システム」を使い、チェックリストに回答することで、自校の情報化レベルが自動的に表示されます。

ぜひ自校の情報化の状況を自己評価する際に御活用ください。



日本教育工学協会
学校情報化認定
の詳細は
[こちら](#)



※画像をクリックすると、資料が開きます。

ICT教育推進課のページ



[まずはこちらへ！](#)

ICT活用ポータルサイト



[最新情報が満載！](#)

「みんなで研修」プログラム



[短時間でICT活用を学べます！](#)

北海道教育庁ICT教育推進局ICT教育推進課

URL <https://www.dokyoj.pref.hokkaido.lg.jp/hk/ict/index.html>

